

実践『ペルソナ』通信 Side-*Be* (No. B-63)
「アルバイト先のLINEグループ」に関する調査結果

実践女子大学人間社会学部 実践「ペルソナ」研究会では、「アルバイト先のLINEグループ」について、女子大生を対象に、写真観察法により調査しました。

※実践『ペルソナ』通信 Be 面とは、写真観察により、実践女子大生像を具体的に考察した調査レポートです。

観察調査結果のポイント

(1) アルバイト先の連絡手段としてLINEが利用されている。

アルバイト先のLINEグループの画像を集めたところ、プライベートではなく仕事上の連絡手段として利用されていることが考えられる。

(2) 全体LINEと、少人数に分割されたグループが存在する。

全員が参加しているグループの他に、学生グループや学年別グループ、イベント用グループなどが存在することが分かった。全体LINEでは人数が多く会話には不向きであることから、主に業務連絡を中心に使用されているのではないかと考えた。また、シフト調整にも多く利用されている。そして、全体とは別に少人数のグループがある理由としては、「全体では話しづらい内容の場合」「話し合いをしたい場合」「仕事とは別の連絡を取りたい場合」などが考えられる。

(3) グループ数が多いアルバイト先と少ないバイト先がある。

全体LINEのみ存在するアルバイト先と、全体LINEの他に学生LINE、さらに学年別LINEなど細かく分割されているアルバイト先があった。飲み会や送別会用に作成されたグループも存在することから、数多くグループが存在するアルバイト先は密接にコミュニケーションがとれていることが考えられる。しかし、仕事とプライベートの分離が出来ていないなどの問題も考えられる。

(4) 学生と社会人で分けられている

多くのアルバイト先で学生のみグループが存在していることが分かった。学生と社会人に一定の距離間が感じられる。また、学生にとっての主要な連絡手段と社会人にとっての連絡手段に違いがある可能性も考えられる。

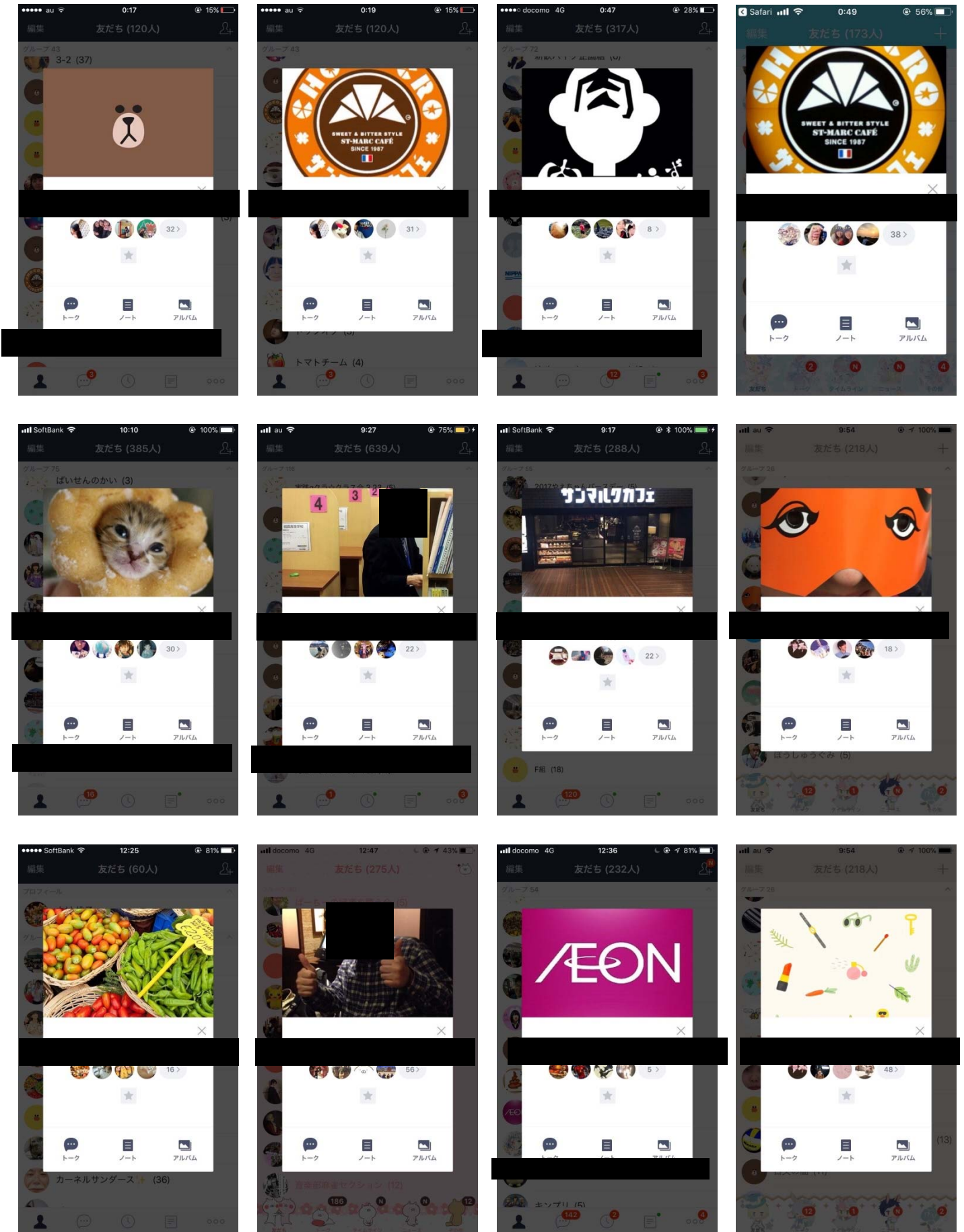
本件調査担当

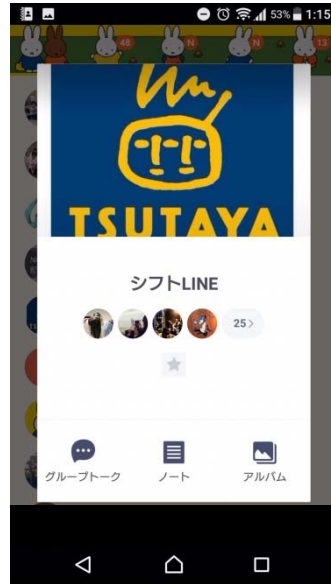
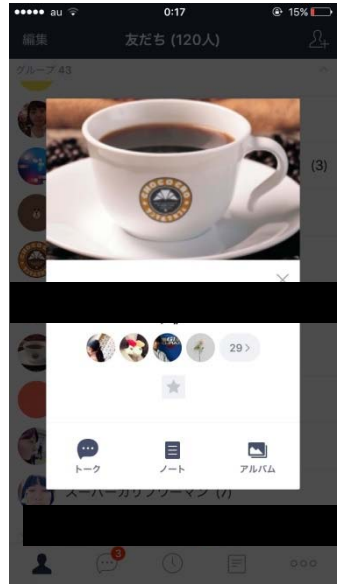
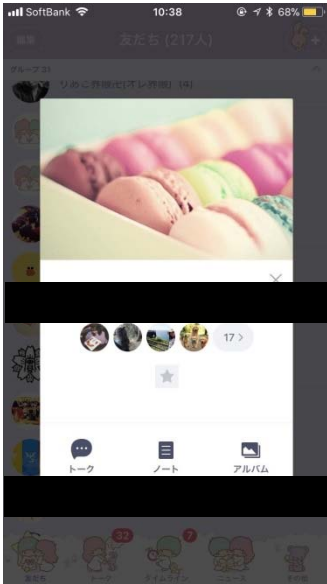
実践「ペルソナ」研究会

3年 佐々木理奈

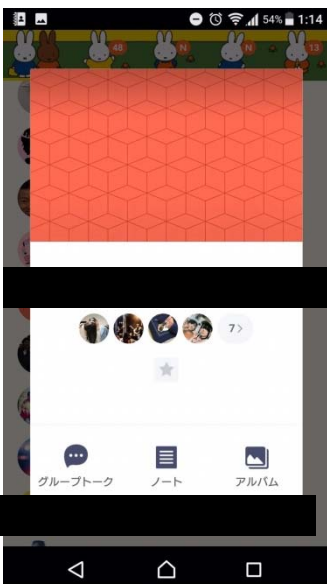
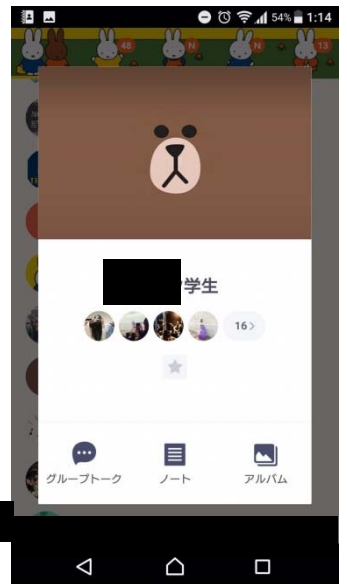
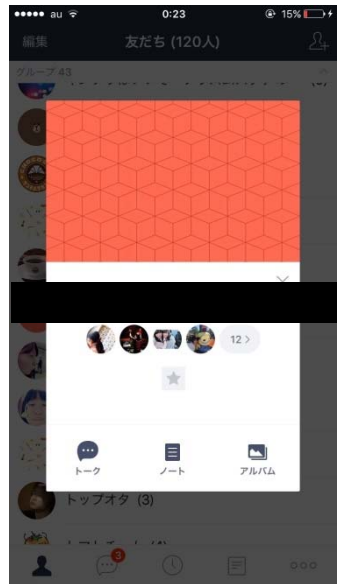
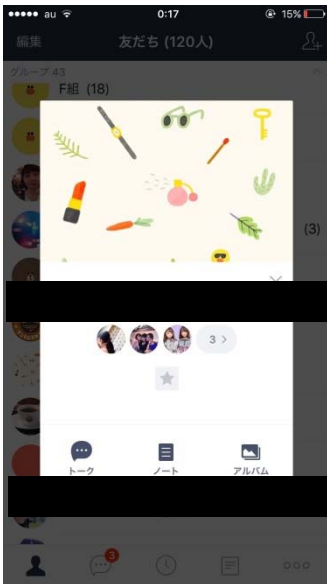
観察調査結果

(1) 全体LINE

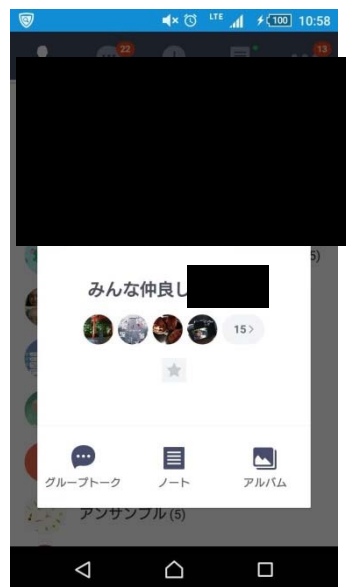
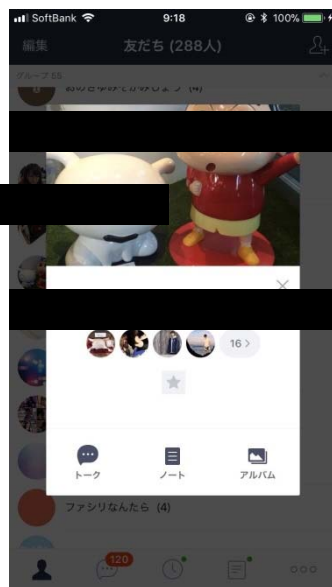
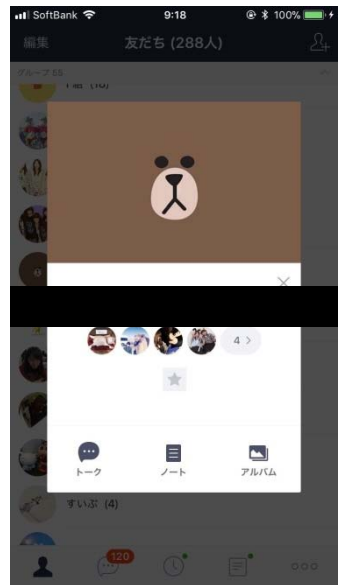
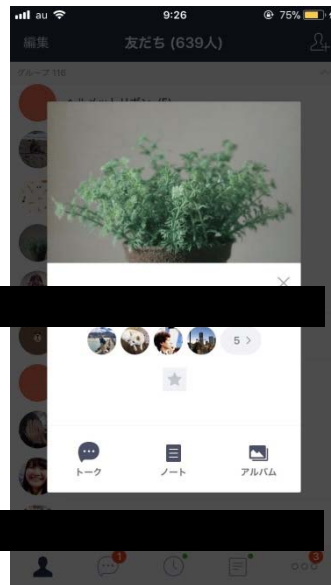
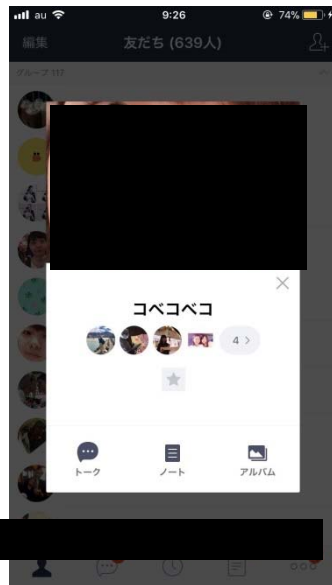
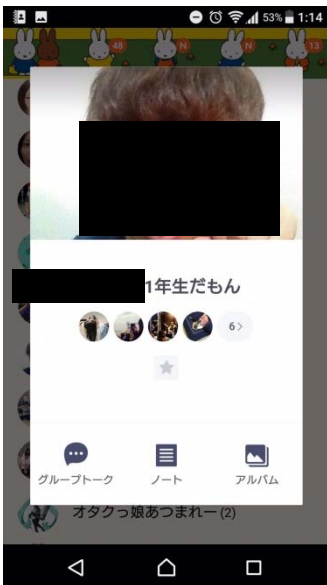
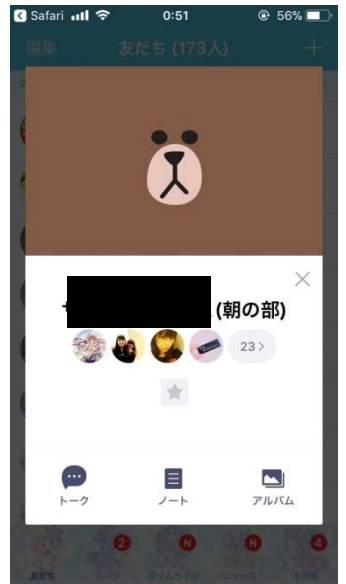
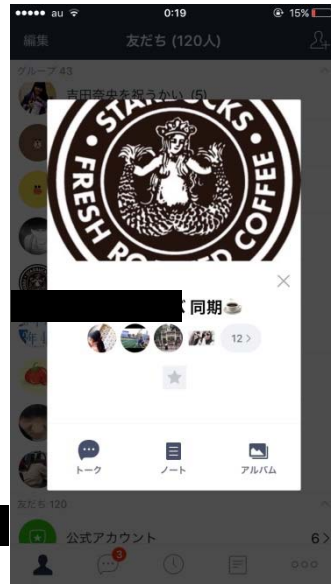
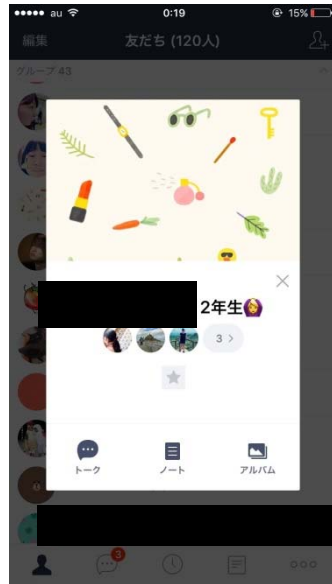
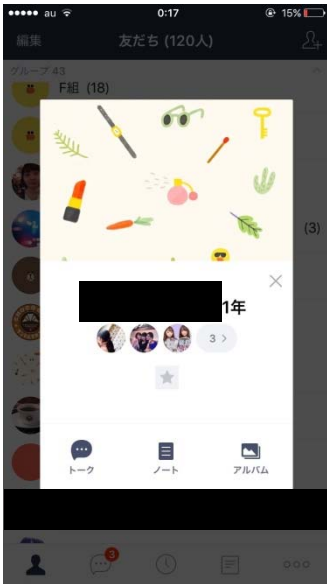


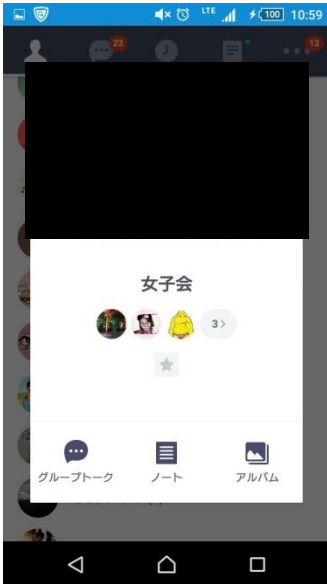


(2) 学生 LINE 全体



学年別+その他





(3) 期間限定 LINE

